



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 松本油脂製薬株式会社
 コード番号 4365 URL <http://www.mtmtys.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 直樹
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部経理グループリーダー (氏名) 勘田 浩之
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 072-991-1001

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	6,522	18.7	652	48.2	798	42.0	576	40.9
2020年3月期第1四半期	8,024	4.7	1,260	3.4	1,378	33.9	974	33.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 642百万円 (14.0%) 2020年3月期第1四半期 747百万円 (48.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	178.16	
2020年3月期第1四半期	301.23	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	63,191	54,681	86.3
2020年3月期	64,706	55,010	84.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 54,537百万円 2020年3月期 54,855百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		300.00	300.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		250.00	250.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想につきましては、本日(2020年8月7日)公表いたしました「通期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,100	20.0	2,500	47.4	2,900	46.8	2,000	48.6	618.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想につきましては、本日(2020年8月7日)公表いたしました「通期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	4,512,651 株	2020年3月期	4,512,651 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,276,700 株	2020年3月期	1,276,660 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	3,235,951 株	2020年3月期1Q	3,236,111 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの国・地域で景気が極めて厳しい状況となりました。国内においても新型コロナウイルス感染拡大防止のため、社会経済活動の自粛により消費が大幅に縮小しております。

国内では、自動車市場の減速をはじめとした産業資材分野での販売不振、外出制限や販売店舗の休業などによる衣料分野での販売不振、工期遅延による建築関連分野での販売不振等により、減収となりました。海外では、前第4四半期からの新型コロナウイルスによる世界経済悪化の影響を受けたため、各地での顧客における生産量の大幅減少や生産の一時停止、更にはロックダウンによる物流機能の停滞もあり、減収となりました。

当社グループとしましては、新型コロナウイルスを主因とする世界的な経済環境悪化の長期化を踏まえ、高品質で価格競争力のある製品の開発を行うとともに、新規顧客・用途開拓活動の推進により収益の維持・向上を進めているところであります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高6,522百万円(前年同四半期比18.7%減)、営業利益652百万円(前年同四半期比48.2%減)、経常利益798百万円(前年同四半期比42.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益576百万円(前年同四半期比40.9%減)となりました。

セグメント情報に記載された区分ごとの状況

① 日本

日本における当第1四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は6,387百万円(前年同四半期比18.6%減)、セグメント利益(営業利益)は640百万円(前年同四半期比49.2%減)となりました。

陰イオン界面活性剤の分野におきましては、国内繊維メーカー各社が減産する中、衛生材料分野向けの販売が好調でした。海外向けでは、繊維工業分野は堅調でしたが、非繊維工業分野の販売不振もあり、外部顧客に対する売上高は642百万円(前年同期比21.5%減)となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、国内では衣料分野向けの販売が減少し、産業資材分野におきましては顧客による生産調整の影響で低迷しました。非繊維工業分野では洗剤向けが好調に推移しました。海外向けでは産業用繊維分野が好調でしたが、外部顧客に対する売上高は3,884百万円(前年同期比14.2%減)となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、国内の繊維衣料用加工剤の販売は大きく減少し、外部顧客に対する売上高は210百万円(前年同期比23.3%減)となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、繊維工業関連では、衣料の国内生産が年初より悪化しゴールデンウィーク以降に大きく減少しました。非繊維工業関連では、自動車関連をはじめとする海外需要が大きく減少しました。設備投資関連資材は、一部製品の終売により前年同期を下回る販売となりました。その結果、外部顧客に対する売上高は1,649百万円(前年同期比25.7%減)となりました。

② インドネシア

インドネシアにおける当第1四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は134百万円(前年同四半期比25.9%減)、セグメント利益(営業利益)は14百万円(前年同四半期比183.7%増)となりました。

非イオン界面活性剤の分野におきましては、製織分野の減少を受けてアフターオイル、精練剤分野は減少しましたが、フィニッシングオイルは前年度並みの推移でした。その結果、外部顧客に対する売上高は81百万円(前年同四半期比16.0%減)となりました。

高分子・無機製品等の分野におきましては、生産拠点が国外に移転しており、国内の生産量が低下し、また、新型コロナウイルスの影響で顧客の工場が休業したため、販売数量が減少しました。その結果、外部顧客に対する売上高は51百万円(前年同四半期比37.4%減)となりました。

陰イオン界面活性剤及び陽・両性イオン界面活性剤の分野におきましては、販売数量、販売金額ともに進展は見られませんでした。外部顧客に対する売上高はそれぞれ1百万円(前年同四半期比31.6%減)及び0百万円(前年同四半期比9.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）比1,514百万円（2.3%）減少して、63,191百万円となりました。流動資産は前期末比1,466百万円（3.0%）減少の48,200百万円、固定資産は前期末比48百万円（0.3%）減少の14,991百万円となりました。

流動資産減少の主な要因は、現金及び預金が813百万円、受取手形及び売掛金が494百万円前期末より減少したことによるものであります。

固定資産減少の主な要因は、建物及び構築物が652百万円、機械装置及び運搬具が1,655百万円前期末より増加の一方、建設仮勘定が2,469百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比1,186百万円（12.2%）減少の8,510百万円となりました。流動負債は、前期末比1,157百万円（13.6%）減少の7,360百万円、固定負債は前期末比28百万円（2.4%）減少の1,149百万円となりました。

流動負債減少の主な要因は、買掛金が622百万円、未払法人税等が591百万円前期末よりそれぞれ減少したことによるものであります。

固定負債減少の主な要因は、退職給付に係る負債が29百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前期末比328百万円（0.6%）減少して54,681百万円となりました。純資産減少の主な要因は、利益剰余金が当連結会計年度における親会社株主に帰属する当期純利益の計上により576百万円増加したものの、剰余金の配当により970百万円減少したことによるものであります。

この結果自己資本比率は、前期末の84.8%から86.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大による影響により合理的な算出が困難であったため未定としておりました。

今後の新型コロナウイルス感染症の収束時期等を正確に予測することは困難ではありますが、現時点での入手可能な情報や予測に基づき、また第1四半期までの業績及び状況が今年度末まで続くものと想定し、通期業績予想を算定しました。詳細につきましては、本日(2020年8月7日)公表しました「通期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,089	32,276
受取手形及び売掛金	7,729	7,235
電子記録債権	171	138
有価証券	3,852	3,820
商品及び製品	2,270	2,269
仕掛品	527	471
原材料及び貯蔵品	1,035	1,009
その他	993	982
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	49,666	48,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,675	8,362
減価償却累計額	△5,424	△5,458
建物及び構築物（純額）	2,251	2,903
機械装置及び運搬具	12,532	14,256
減価償却累計額	△10,588	△10,657
機械装置及び運搬具（純額）	1,943	3,598
土地	529	527
建設仮勘定	2,530	61
その他	1,465	1,456
減価償却累計額	△1,311	△1,299
その他（純額）	153	156
有形固定資産合計	7,409	7,247
無形固定資産		
その他	31	51
無形固定資産合計	31	51
投資その他の資産		
投資有価証券	6,317	6,530
繰延税金資産	287	125
その他	1,000	1,042
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	7,598	7,692
固定資産合計	15,039	14,991
資産合計	64,706	63,191

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,902	5,280
未払法人税等	707	115
賞与引当金	311	62
その他	1,596	1,901
流動負債合計	8,518	7,360
固定負債		
退職給付に係る負債	1,002	973
資産除去債務	109	109
その他	66	66
固定負債合計	1,178	1,149
負債合計	9,696	8,510
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,518	6,518
利益剰余金	49,066	48,672
自己株式	△7,321	△7,322
株主資本合計	54,353	53,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	650	753
為替換算調整勘定	△154	△183
退職給付に係る調整累計額	6	9
その他の包括利益累計額合計	502	578
非支配株主持分	154	144
純資産合計	55,010	54,681
負債純資産合計	64,706	63,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	8,024	6,522
売上原価	5,785	4,995
売上総利益	2,239	1,527
販売費及び一般管理費	979	874
営業利益	1,260	652
営業外収益		
受取利息	14	7
受取配当金	41	47
持分法による投資利益	16	47
為替差益	-	10
受取保険金	41	-
その他	28	44
営業外収益合計	142	157
営業外費用		
支払利息	0	0
投資事業組合運用損	2	9
支払手数料	1	1
為替差損	18	-
その他	2	1
営業外費用合計	24	11
経常利益	1,378	798
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除却損	1	3
特別損失合計	1	3
税金等調整前四半期純利益	1,377	795
法人税、住民税及び事業税	289	100
法人税等調整額	111	113
法人税等合計	400	214
四半期純利益	976	580
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	974	576

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	976	580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△269	102
為替換算調整勘定	5	△42
退職給付に係る調整額	3	3
持分法適用会社に対する持分相当額	31	△2
その他の包括利益合計	△228	61
四半期包括利益	747	642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	744	652
非支配株主に係る四半期包括利益	3	△10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	7,842	181	8,024
セグメント間の内部売上高 又は振替高	69	2	71
計	7,911	184	8,096
セグメント利益	1,260	5	1,265

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,265
棚卸資産の調整額	△5
四半期連結損益計算書の営業利益	1,260

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	インドネシア	
売上高			
外部顧客への売上高	6,387	134	6,522
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45	3	49
計	6,432	138	6,571
セグメント利益	640	14	654

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	654
棚卸資産の調整額	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	652